※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　書道科

科目	書道Ⅰ	単位数	2
使用教科書	書Ⅰ（光村図書）		
副教材等	な　し		

	前 期	後 期
単 位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	４回	４回
テスト	× （スクーリングで取り組む実技課題に代える）	
課題・実習等	レポートやスクーリングで実技課題あり	

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書をよく見て、特徴を捉えながら書いていくことが大切です。
・スクーリングには、必ず教科書と書道用具（大筆・小筆・半紙・墨液）を持参してください。
準備のない場合、スクーリングを受けられないことがあります。
※下敷きは、全員学校のものを使用します。
※硯・文鎮は、数に限りはありますが貸出も可能です。

２　学習の到達目標

(1) 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力 の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

- 学期末に５段階で評価する。
- 学習指導要領(第１章第２款の５)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を利用することもある。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
前期	漢字の書	1.書写と書道 用具・用材について	a:基本的な用具・用材の理解。 b:意図を理解して、実技課題に取り組んだ内容になっている。 c:目標を理解して、自己の学習を振り返っている。	教科書から出題された設問等のレポートの正答率とその内容。	実技課題を理解して表現し、丁寧に仕上げているか。	学習の振り返り内容とレポートの取り組み状況。
		2.楷書の学習 ・孔子廟堂碑 ・九成宮醴泉銘 ・雁塔聖教序 ・顔氏家廟碑 3.行書の学習 ・蘭亭序 ・風信帖 4. 草書の学習 ・真草千字文	a:楷書・行書・草書の特徴について理解し、書表現の多様性について理解している。 b:書の伝統の基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:作品や書の伝統を考え、書の美を味わい内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			
後期	漢字の書	1.篆書の学習 ・泰山刻石 2.隷書の学習 ・曹全碑	a:篆書・隷書の特徴について理解し、書表現の多様性について理解している。 b:書の伝統の基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:漢字の書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			
	仮名の書	3.仮名の学習 ・いろはうた ・蓬莱切	a:仮名の成立と字源、連綿についての理解。 b:仮名表現の基礎・基本を身に付け、適切な字形で表している。仮名の線質や書風と用筆・運筆との関わりを理解し、意図に基づいて構想し、表現している。 c:仮名の書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			
	漢字仮名交じりの書	4.漢字仮名交じりの書の学習 ・創作作品制作	a:題材選定や表現の工夫について理解している。 鑑賞による学習を通して、漢字仮名交じりの書への理解を深めている。 b:漢字と仮名の線質を調和させ、意図に基づいて構想し、表現している。 c:創作作品を振り返り、漢字仮名交じりの書の美を味わい、内容を理解して自分のものとしている。 計画的かつ積極的に、レポートに取り組んでいる。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度